

慶蔵院寺報

公孫樹

2023年12月発行

第143号

浄土宗慶蔵院

伊勢市小俣町元町1211

☎0596(22)3726



慶蔵院ともいき英語サロンのみなさん 画 山寄淑子



十二月三十一日(日)

午後二時〜浄焚式

午後九時〜仏名会・除夜の鐘

甘酒・ぜんざい・粕汁

お餅も焼けます

福引もあります!!



今年もあと一か月となりました。少し早いですが一年間色々ありがとうございました。無事に新しい年を迎えられますように祈りたいと思います。「浄焚式」では、なかなか個人では処理できないものを、分別してお焚き上げさせていただきます。無料ですから何でも相談してください。

「除夜の鐘」にもぜひお参りください。午後9時〜順番の番号札をお渡しします。百八番を超えても、引き続き叩いてもらいますから12時を過ぎてもお出かけください。甘酒・ぜんざい・粕汁がふるまわれます。おかわりも自由です。お餅も用意してはいますが、数に限りがありますから、お家に餅のある方は持ってきて、焼いて食べてください。無病息災間違いなしです…。

九時から始まる仏名会、本堂で行っています。礼拝行と念仏です。木魚を叩きながら、ひたすらに南無阿弥陀仏と称えます。少しでも本堂に上がって体験してみてください。

本堂には、前回紹介した松家香代子さんの仏画をはじめ、今井英一さんの版画、切り絵。早川よし子さんの写真、西里定一さん、山寄淑子さんの絵画、一会館には西里定一さんの彫刻も展示されています。この機会にぜひご覧いただければ幸いです。一会館、暖かくてあります。休憩所としても利用していただけます。本堂にもエアコン暖房がありますから、安心してお出かけください。



12月の行事予定



6日(水)	写経会 男性詠唱隊	午前10時～ 午後7時～
10日(日)	成道会 山添真寛上人・ 佐藤順晋上人・当山住職	午後1時～4時
11日(月)	華道「山村御流」教室 講師 小森清真先生	午後1時半～ 参加費2000円 と 花代
13日(水)	落語会「いちご亭」 南遊亭栄歌・安楽亭東風	午後7時～ 一会館にて 無料 おひねり歓迎
16日(土)	鈴村実千代先生の朗読会	午後1時半～2時半 本堂にて 参加費無料
17日(日)	子ども会	午前10時～クリスマス会 11時 大正琴アンサンブル
20日(水)	健康教室 歩き方教室 講師 馬場久美子先生	午後1時～3時 参加費500円
9日・23日(土)	絵画サロン 講師 山寄淑子先生	午後7時～8時半 一会館にて 参加費1回500円
27日(水)	地藏講・地藏堂開帳	午後1時半～
25日(月)	戦没者慰霊平和の鐘	朝の勤行にて 午前8時頃
14日(木)	ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生	午前10時～11時半 午後1時半～3時 一会館にて 参加費1回1000円
8日・22日(金)	茶道教室 講師 河井宗恵生 樋口宗恵先生 田島宗紀先生	午後7時～子供茶道教室 7時半～大人茶道教室 大人500円 一会館にて
28日(木)	寺周辺住宅屋根・樋掃除	午前8時半～
31日(日)	浄焚式・除夜の鐘	午後2時～浄焚式 午後9時～仏名会・除夜の鐘

能の話 続き

慶徳院で知識 part2

地藏和讃に「これはこの世のことならず」とあるように、そもそも能の舞台は、この世ではないのです。舞台は、本舞台と呼ばれる約六メートル四方の空間と、そこから向って左手にのびる橋が掛りという廊下のような空間で成り立っています。その奥には幕を隔てて鏡の間があります。又舞台奥の壁と橋掛かりには松等の樹木があり、神の依る場所を表しています。舞台周囲には白州と呼ばれる白い玉砂利が敷かれており、水の上に浮かんでいることを表しています。橋は京都の一条尻橋に象徴されるように、何かこの世ならぬもの(妖怪、精霊、亡霊、鬼、ありとあらゆるモノ、時に神や仏までも)が出現する「あやかし」の空間なのです。見る者に想像を駆り立てます。私が最初に見た羽衣は、天女が三保の松原に天下つての水浴中、漁師に羽衣を取られたのを、取り返すために舞うというストーリーです。疑い深い漁師に天女は「疑いは人間にあり、天にはいつわりなきものを」と返すのです。

次に「富士太鼓」。太鼓の名手の富士が、出過ぎた事をしたと恨みを買って殺されてしまいました。それを知った妻が、形見の太鼓を、夫の仇と、怨念を晴らすため打ち鳴らし、そこに夫の亡霊が取り憑き、乱舞するというストーリーです。その他、「融(とおる)」、「自然居士(じねんこじ)」、「舍利」も鑑賞し、とても感動しました。

(文 麻畑公生)

成道会 十二月十日(日)

午後一時 開白法要 詠唱

午後一時半 当山住職法話(一五分)

二時 佐藤順晋上人(安楽亭東風 落語)

特別ゲスト

全国春日八郎偈ぶ会中部地区伝承会代表

金谷 昌俊さん

※今年度全国大会で優勝されました

休憩 ぜんざいを食べていただきます

三時 山添真寛上人(浄土宗の劇団ひとり)

紙芝居・人形劇を使って創作法話に取り組んでいらっしやいます。



住職の健康回復への道のり(2)

先日、二十四時間ホルターによる心臓の検査と血液検査を行いました。その結果は、心臓には一時的な負荷がかかったことを示す数値が2を示しており、これが1になれば、すべて順調という評価をいただきました。

血液検査では、心臓に水が溜まっている数値が、少し高い状態にあることが課題。血圧の調整を、利尿剤を併用しながら続けて診ていくことになりました。腎臓機能の低下を示すクレアチニンも少し高めなので、油断することなく食へ過ぎに注意しつつ、日々の生活改善と健康体操に取り組まなければなりません。

火曜日と金曜日は休息の日といただいて、朝、六時二十分に小俣駅を出て、夜、八時半に寺に帰る日。これをもつなぐ「道場通い」と考え、精進してまいります。

鈴村実千代さんの朗読会



お気軽に参加を、無料です

12月16日(土) 午後1時半~2

鈴村先生は津市を中心に各地で朗読教室を開いてみえます。先生の指導の下、音読、群読、早口言葉を体験しましょう。

滑舌がよくなり、コミュニケーション力がつき、脳の活性化、老化防止にもつながります。

自分で練習するための教材資料もいただけます。

継続して練習することによって、成果がわかるようになるそうです。

素晴らしい朗読を聞き、参考にしながら上達を目指しませんか。



☆お知らせ☆

十二月二十八日(木) 八時半から業者さん・寺世話さんにご近所の屋根掃除・境内掃除をし

コロナ明け三年ぶりの忘年会

奥田 悦生
(「知恩」十二月号「柳壇」に掲載)

落語会「いちご亭」

第2水曜 13日 午後7時 慶蔵院「一会館」

無料です

出演 法話 慶蔵院住職

LINE @chichouin

TEL 0478-22-1111



麻畑公生の「浄土宗新聞」

見どころ・読みど

ろ



1P.「除夜会」とは1年の締めくくりに、自分自身をしっかりと見つめなおし、反省し、来年へつなげる絶好の機会になります。本当は一日の終わりにこのような機会を持つのが良いのです。幸いに慶蔵院では、勤行で礼拝儀を使って行っています。暮れの礼拝儀の「至心に懺悔す」がこれに当たると考えます。ネットで如来光明礼拝儀で探せば出てきますので、一読をして下さい。

第122回



12月17日(日) 午後1時~2時

第一部 クリスマス会

絵本読み聞かせ・紙芝居
高橋薫さんグループ

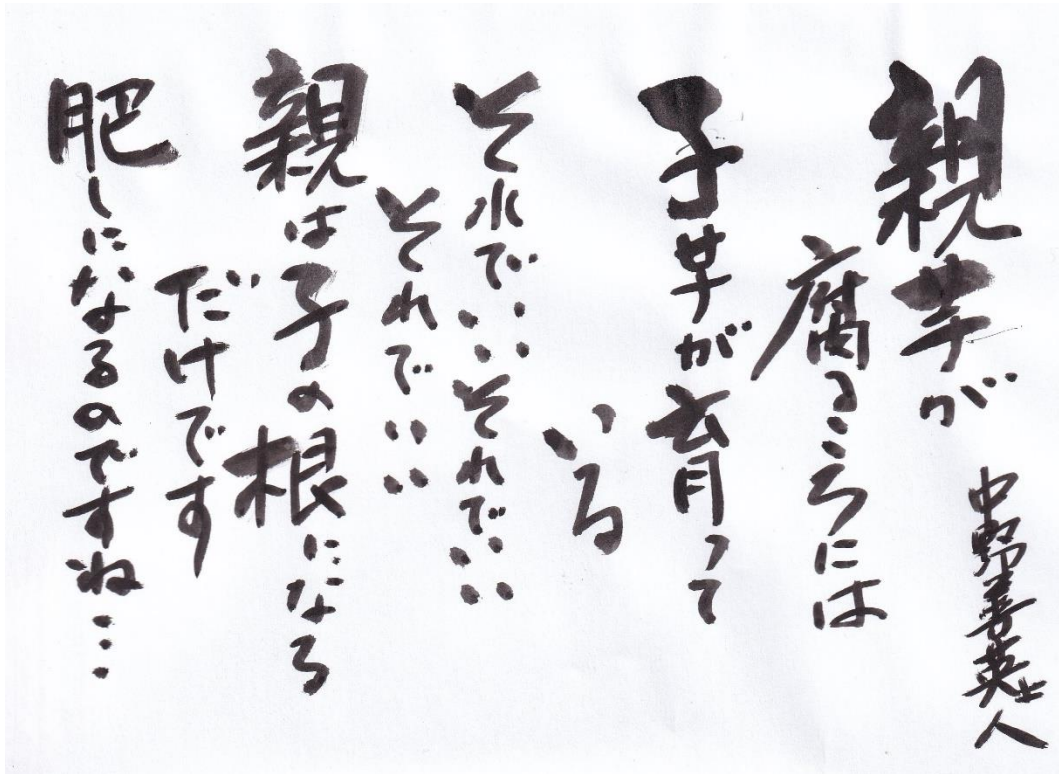


第二部 大正琴アンサンブル



「ラーノート」のみなさん

お家の方も一緒にどうぞ



五年後の令和十年十一月一日から五重相伝を計画し、さらに七年後の令和十二年晋山式を経て、任職を息子に渡したいと願っている。東京で仕事についている息子も副任職としての自覚を持ち、一年後の年度末を待って寺に帰ることを考えてくれている。ありがたいかと思っている。

二つの大事業は、檀信徒の皆さんの物心両面にわたる支えをいただいで初めて実現できるもの…。私もまた慶蔵院の護持・発展のために、なんとしても、回復できた健康を維持しつつ、与えられたこの命をつないでいかなければならないと決意している。

もうひとつ切実な願いがある。「この五年間の間に、何とか結婚をしてもらいたい」。子どもは授かりものであるから、こちらの意志でどうなるものでもないだろう。しかし、できれば男の子が授かって、晋山式に「この子が次の跡継ぎになれるように」、祈ってください。南無阿弥陀仏と、檀信徒の皆さんとお称えしたい…。これが正直な気持ちである。

息子が「寺を継がねばならない」との思いを、いささかも揺るがすことなくここまで育ててくれたのも、檀信徒の皆さんのあたたかい眼差しをいただいできたからだと感謝している。

一人で公民館で遊んでいる小さな息子に声をかけてくれた方がいる。「あんた、どこの子」と。

「僕、お寺の子」と息子が応えたという。その応え喜んでくれる周囲の眼差しである。寺を預かる身は、個人である前に、公人たる身であることを忘れてはならないと伝えていかなければならない。